



職員紹介



計画相談部門 渡邊崇顕

はじめまして。昨年 8 月にキャッチに入職いたしました、渡邊崇顕（わたなべ たかあき）と申します。以前は別の事業所で相談支援専門員をしていたので、ご存じの方もいらっしゃるでしょうが、改めてよろしくお願いします。

熊本県出身です。精神保健福祉士の資格を取り、熊本県内の精神科病院の病棟やデイケアに延べ 11 年ほど勤務しておりました。結婚を機に佐賀県民になり、5 年ほど前から相談支援専門員として働くようになりました。同じ北部九州ではありますが、熊本と佐賀では言葉だけでなく、制度の違いで戸惑うことも多く、各方面から教えやお叱りを頂きながら今に至ります。

名前からしてお堅いイメージを持たれるでしょうが、内面はけっこうフニャフニャしてます。「40代の新人」という扱いの難しいキャラですが、幾久しくお付き合いいただきますようお願い申し上げます。

教えて！渡邊さん 🎤 職員インタビュー 🎤



① 自身の「長所と短所」を教えてください

長所と言って良いのか微妙ですが、妻が言うには執念深い一面があるそうです。目標達成のためにあの手この手を考えたり、小細工したりするのが好きですね。短所はマイペースが過ぎること。家でもよく怒られています。最近は息子にも…

② 何をしているときに「一番幸せ」を感じますか？

以前はバイクで遠出して、絶景を拝んだり美味しいものを食べたりするのが好きでしたが、ここ数年は旅に出ることがめっきり減ってしまいました。キャンプにも行かなくなりました。今は庭に 1 坪ほどの畑を拓き、季節ごとに野菜を育てています。収穫して家族と一緒に食べるのが好きですね。息子はまったく食べてくれませんが…

③ 仕事の「やりがいを感じる時」を教えてください

調整の難しい案件に取り組んでいるときですかね。あまりにも課題が難しいと途方に暮れてしまうので、そこそこの難易度で勤弁してもらいたいです。ジグソーパズルのピースを嵌めていくようなイメージです。

あとは、お給料日に好きなお惣菜と、いつもとは違うお酒を買うときですかね。家ではだれも飲まないで毎回一人酒ですが…

④ 自分への「エール」を一言！

大丈夫、なんとかなる！たぶん…

若干、自虐気味のコメントいただきました。笑
皆様、どうぞよろしくお願いします！





令和6年4月1日から策定や研修、訓練等が義務化、障害福祉サービス事業所における「業務継続計画(BCP)」とは？



BCPとは

BCP(ビー・シー・ピー)とは Business Continuity Plan の略称で、業務継続計画などと訳されます。新型コロナウイルス等感染症や大地震などの災害が発生すると、通常通りに業務を実施することが困難になります。まず、業務を中断させないように準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方針、体制、手順等を示した計画の事です。

出典:「[介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン\(厚生労働省\)](#)」(P3)

皆さんの事業所ではBCP策定していますか？



もし、このようなことがあったら…!?

地震で公共交通機関が止まり、職員が出勤できなくなったら…。
 大雨で堤防が決壊し、事業所周辺が水没・孤立したら…。
 電気、ガス、水道の途絶でエレベーターや風呂・トイレ、台所が使えなくなったら…。
 利用者さんや職員の間で感染症のクラスターが発生したら…。

大災害やクラスター発生時にも事業を続ける備えはできていますか？

BCP 策定が義務化される今年度以降は、そんな非常事態が発生しても「想定外だった」では済まされないと考えます。
 大災害は明日発生するかもしれません。
 利用者さんや職員の生命と安全を確保するためのBCPの策定は、急務といえる状況です。



●ご報告●

キャッチで業務継続計画(BCP)

策定、自然災害時対策研修を実施しました



キャッチでも業務継続計画(BCP)を策定し、先日、事務所にてケアプランセンターお元氣りボン朝長氏、みやき町地域包括支援センター牛島氏を講師に迎え、キャッチ会員向け自然災害時対策研修を実施しました。まずは BCP の目的や概要について学び、具体的に発災を想定した演習では、キャッチ職員としてどのような動きが必要かグループワークを行いました。職員間で様々な気づきを共有することが出来、大変有意義な時間となりました。今後も定期的に BCP 内容の見直しや研修を実施していきたいと思ひます。

今回の研修の目的は

- ① BCP について理解を深めること
- ② 今後どのような準備が必要か職員間で共通認識を持つこと



今回の研修会で再確認できた手順等について

- ① 出来ることから準備を行う。(備品等の倒壊を防ぐための対策の実施や、災害時に必要な物品等の購入の検討)
- ② 災害時、まずは自分自身の命を守り抜く。(テーブルの下に身を置くなど)
- ③ 事業所(キャッチ)の被害を把握する。
- ④ 災害時連携を試み、地域のライフライン・移動手段・避難場所の状況確認を行う。
- ⑤ 優先順位の高い方への支援活動の実施を進めていけるよう、具体的な手段を計画に盛り込む。
- ⑥ 支援を必要とする利用者の優先順位がつけられたリスト、地図、支援内容等の作成を行う。



受講後の職員の感想

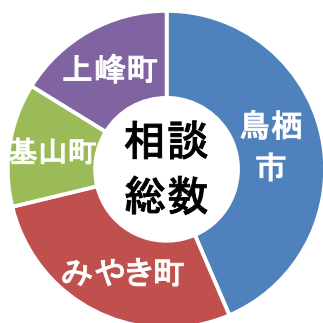
- 防災について考えることが出来る貴重な時間となりました。事前の備えが出来てないので、早急に対応が必要だと感じました。
- 防災には事前の準備、みんなで考えることの重要性を改めて考える研修になりました。
- 演習時ですら、有事の際にどうすれば良いのか戸惑いがあったので実際は更にその迷いは強くなると容易に想像できました。義務だからではなく、BCP を作成する必要性を強く感じる事が出来た研修となりました。
- 今回の研修により支援者が助けられるとは限らない場面もあるのだと認識できました。普段から利用者さんと一緒に「緊急時」について考えていきたいです。

～BCP 策定を行うことで～

「発災時にどのような**リスク**があるのか」、「どのように**対処**するのか」など様々な**障害**を認識することができ、**損害**を最小限に**抑えて事業の継続・復旧**を行うことができる。



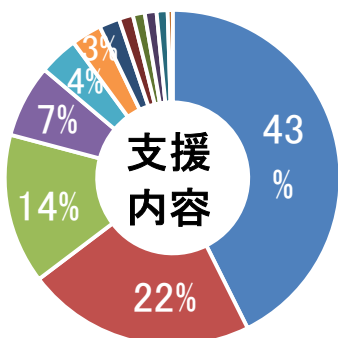
キャッチ 令和5年4月～令和6年3月の相談件数



1市3町 相談件数の総数

(件)

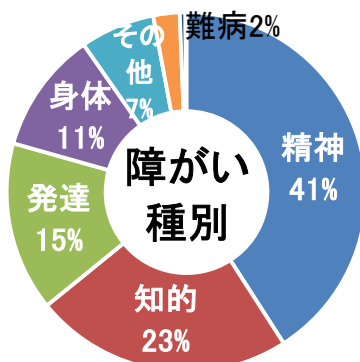
鳥栖市	みやき町	基山町	上峰町	合計
4,774	3,037	1,380	1,776	10,967



支援内容の内訳

(件)

障がい・病状理解	福祉サービス利用	健康・医療	家族関係・人間関係	家計・経済	その他	就労
4,675	2,420	1,585	768	416	319	217
権利擁護	生活技術	不安解消・情緒安定	保育・教育・療育	社会参加・余暇活動		合計
149	126	124	115	53		10,967



障害種別の内訳

(件)

精神	知的	発達	身体	その他	難病	高次脳機能	重心	合計
4,485	2,549	1,671	1,199	737	261	56	9	10,967

ちょっと一息



旬の食べ物「春キャベツ」

スーパーや青果店で年中見かけるキャベツですが、実は旬が複数あるのをご存じですか？秋ごろに種をまき4～6月に収穫する「春キャベツ」と、夏に種をまき11～3月に食べごろを迎える「冬キャベツ」があります。「春キャベツ」は冬でも暖かい地域で栽培された栄養価が高いものとのこと。「春キャベツ」の方がビタミンCやカロテンが豊富とされているそうです。



○鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町にお住まいの障害者本人、障害のある方を支えている家族及び支援者からの相談をお受けします。障害の種別、手帳の有無は問いません。相談は無料です。

<相談窓口開設時間>

9:00～18:00（月曜日～金曜日） 9:00～17:00（土曜日）

（祝祭日、日曜は窓口業務をお休みします。）

特定非営利活動法人 総合相談支援センターキャッチ

住所：佐賀県鳥栖市宿町 1041-3

（代表）電話：0942-87-8956 FAX：0942-85-9003

Mail：so-sodan@tosumiyaki-sodan.or.jp

URL <https://www.tosumiyaki-sodan.or.jp/>

～編集後記～

本号で春キャベツについて掲載しましたが皆さんはキャベツ好きですか？私の家族は毎晩、自家製調味料（生姜、黒酢、ハチミツ入り）をかけてむしやむしや食べてますが、私は黒酢の酸味が苦手です。でもキャベツそのものは大好きです！（酒井）